

「ママとパパとふうかとかんたとめっちでちからをあわせておいもをとりたいな」

星井 風花 (ほしい ふうか) 6歳

玖珂保育園

(山口教区)

## ●表紙のこたば●



園の屋上でおいも掘りをしたところ、こどもたちがとても喜んでいたので、先生は、その日のうちに「明日は、家族のみんなとおいも掘りしよう」と描画活動を導きました。たった今、経験したばかりの新鮮な楽しさと、それを大好きな家族みんなでやるんだという楽しい想像が混ざり合った表現です。単なる経験の再現にはあまり積極的になれない幼児もいるので、経験した楽しさが醒めやらぬ内に、想像の世界で楽しく遊べるように工夫された題材です。

風花さんは絵を描くのが大好きだそうで、おいもがひとつひとつ蔓の先になって土の中に埋まっている様子、たくさんのお虫がいたこと、そして家族全員でおいも掘りを楽しんでいる様子など絵の中でたくさんお話してくれています。また腕をしっかりと蔓の方へ折り曲げて両手でおいもを引き抜いた力強さも伝わってきます。次々浮かんでくるイメージを素早く描き止めるため、最初は黒一色で線描しているのもこの絵の迫力につながっています。

おお はし いさお  
**大橋 功**

岡山大学学術研究院  
教育学域